

会員増強のための活性化会議 グループワーク資料

(配布資料①)

地域薬剤師会名：所沢市薬剤師会

地域薬剤師会代表者名：宮野 奨

① 数値目標

- 現会員数：A 会員 99 名 B 会員 63 名
 - 目標会員数：A 会員（+9.41%）：9 名 B 会員（+11%）：7 名
-

② 具体策（3 項目）

■施策①（すぐできること）

内容：所沢市薬剤師会入会ルール(同一チェーン薬局は前薬局入会 or 全薬局退会)の

徹底・見直しの実施

開始時期：7 月

■施策②（少し頑張ればできること）

内容：所沢市薬剤師会HPの「薬局の医療提供体制について」に掲載していて未入会

の薬局に改めて入会意思の声掛け確認を実施する

開始時期：7月より

■施策③（新しい挑戦）

内容：薬局数には限りがある（＝A会員数）ので、B会員増に向けた新規施策の検討

開始時期：8月以降検討開始予定

③ 想定される課題（任意）

施策①について

- ・チェーン内全薬局入会となれば会員数は増えるが、逆に全店退会となれば減少に転ずる可能性がある。

施策②について

- ・未入会薬局はHPに掲載するに当たり1年分の管理料を徴収済みとなっている。
- ・今回の施策で入会となった場合に返金や期の途中での会費徴収に多少手間が発生。
- ・入会薬局が増えた場合は会費に置き換わってしまう為地域薬剤師会としての収入減となる。

施策③について

- ・A会員薬局の在籍する(会員)薬局から入会希望の出たB会員に対する人数に対する優遇措置の検討
 - ・勤務薬剤師がB会員に入会することで得られる支部薬剤師会でのメリットの再検討
-

④ 埼玉県薬剤師会への支援要望（任意）

A会員薬局の在籍する(会員)薬局から入会希望の出たB会員の人数に対する優遇措置の検討(例えばB会員5名以上ならば県薬入会金の割引等)